



松ヶ崎小学校だより

令和 7年 5月 1日
校長 金谷 勝弘

新しいことにチャレンジする松ヶ崎の子

始業式・入学式から3週間がたちました。新一年生の4人は、はじめ、いろいろなことに戸惑い、不安な日々もありましたが、お兄さん、お姉さんたちが近くでいろいろなことを教えていき、今では、すっかり松ヶ崎の子として学校生活を元気に過ごしています。

また、在校生のみんなは、一つ学年があがり、新しい教室や新しい先生たちと一緒に、元気に学校生活をスタートしています。

集会や委員会活動での話しぶりや態度、それぞれの教室での様子から、子どもたちの積極的な活動や取組が自然と見られるようになりました。登下校の通学やなかよし班そうじでは、学年を超えた友だち関係、特に、上級生の思いやりの行動に感銘を受けています。

これからの学校生活も、子どもたちには、これまでがんばってきたことを続けたり、新しいことにチャレンジしたりと、楽しみながらも一年間、一生懸命に活動してほしいと願っています。

全校遠足に行ってきました。

25日(金)、天気にも恵まれる中、今年も、全校で鈴の森公園へ遠足に出かけました。1～3年生は道中半分、バスを使いました。公園では、全校でふえおにで遊んだり、4～6年生は、歴史博物館に出かけたりして、春の一日をみんなで楽しむことができました。



日ごろから感謝！

登下校の見守りや学校環境整備、ふれあい農園活動等、今年もありがとうございます。4月から、朝の交通指導や一斉下校で、毎日子どもたちを見守っていただいています。28日(金)も早川さんの田んぼで田植え体験を行いました。早川さんをはじめ、たくさんの方々に、協力いただきました。子どもたちは、この小学生の時に体験・経験したことは、大人になった時、ふと考える時が来ると思います。多くの場面でご支援いただき、本当にありがたいです。これからも、子どもたちをどうぞよろしくお願いいたします。子どもたちも教職員も当たり前の学校生活に感謝でいっぱいです。

